

フッ素基準値オーバー水供給に関するお詫びと経過について

阿蘇市水道事業管理者
阿蘇市長 佐藤義興

旧阿蘇町の黒川上水道において、フッ素基準値オーバー水を、緊急避難的措置とはいえ、給水していた事実がありました。阿蘇市をあげざる者として、大変驚いているところでございます。

現在、この水は、鍵をかけ封印し、完全に止めております。

この問題の公表方法次第では、特に「農産物」「観光」「阿蘇の水」等についての風評被害により、「新生阿蘇市」のイメージダウンを招くことが予想されましたので、どのような方法で、皆様にお伝えしたらよいかを、市議会・関係区長と慎重に協議を重ねながら、各報道機関に公表した次第であります。

黒川上水道を日常的に使用されている住民の方はもとより、市民の皆様方に対しても多大なるご不安とご心配、ご迷惑をおかけしましたことに、誠に申し訳なく、重ねて心からお詫び申し上げます。

なお、住民説明会でのご質問（右下）の回答につきましましては、過去の記録、資料等を十分調査し、事実確認を行っております。その結果につきましましては、責任をもってご報告いたします。

また、給水不安に対応するため、老朽送水管布設替工事等、早期に対応できるものから確実に実施し、安定供給を目指しますが、水量不足が予想される場合には、節水等のお願いもいたすかと存じます。皆様のご理解とご協力を併せてお願い申し上げます。

問題発生から現在までの経過表

月 日	経 過
3月24日	フッ素基準値オーバー水の給水事実を確認。給水停止措置をとる。
4月14日・18日	旧阿蘇町議員への説明と協議。
4月21日	西町、竹原、蔵原、東黒川、坊中区長への説明と協議。
4月27日	阿蘇市議会全員協議会にて全市議会議員へ説明。
5月7日	熊日新聞報道
5月9日	共同記者会見を行い、各報道機関に公表 旧阿蘇町議員、黒川上水道給水区域全区長への再説明と協議。
5月17日	保健課に「健康不安による相談窓口」開設。給水区域全域にチラシを配布し広報する。
5月20日	坊中地区を皮切りに、住民説明会を開催(日程、主なご質問は別表)
5月27日	臨時市議会において、老朽送水管布設替の予算成立。全員協議会にて経過説明

黒川上水道事業経緯

- 昭和50年から大型リゾート開発等が進み、将来、黒川上水道の水量不足が予測されるため、その対策として、昭和63年度に蔵原地区に新水源を求め、施設整備を行った。
認可申請当時は、全項目の水質基準をクリアしていたが、給水開始届を出す時点で、フッ素が基準値(0.8mg/l)をオーバー(平均2.65mg/l)し、県への給水開始届が出されていない。
- 平成2年度緊急対策として、道目木からの一部給水を行う。
- 平成3年度から7年度まで、山田地区に新水源を求めたが、既設井戸に影響がでるなど、実施にいたらなかった。
- 平成8年から10年度に水質改善実験を行ったが、建設費、維持管理費が高く、実施できなかった。
- 平成9年度から12年度にかけ、黒川地区老朽配水管布設替工事を行う
- 平成11年度、道目木にポーリングを行う
- 平成14年度から老朽送水管の布設替に着手し、中継ポンプ場から第3配水池までの約1.5kmの布設替を行った。
- 平成17年度老朽送水管の残り、2.3kmの布設替に着手予定

住民説明会の主なご質問内容

- 基準値オーバーとわかっている水を、なぜ流したのか
- 誰の指示で、いつから、どれくらいの量流したのか
- 健康被害はないか
- この問題は、旧阿蘇町議会でも出ているはず。当時のお話を伺いたい
- 信頼回復のため、水質検査等の情報公開をして下さい
- 新水源を一日でも早く求め、安心、安全な水を供給してください

住民説明会日程表

各公民館で午後8時から開催しました。

地区名	開催日	出席者数(うち出席議員数)
坊中地区	5月20日	25名(0名)
蔵原地区	5月23日	33名(1名)
東黒川地区	5月24日	31名(1名)
西町地区	5月26日	27名(1名)
竹原地区	5月27日	46名(2名)
下西黒川地区	6月1日	34名(1名)